



コミュニティ・スクールと学校評価

◆ 各学校が行う学校評価は、教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講じるものです。



◆ 本市では、コミュニティ・スクールの導入に伴い、これまでの学校評議員制度を廃止し、コミュニティ・スクール委員（以下、「委員」という。）が学校関係者評価を行うこととなります。

◆ 私は、委員による学校関係者評価の実施を、コミュニティ・スクール委員会（以下、「委員会」という。）の協議の活性化と内容の深化につなげることが重要であると考えています。

委員は、学校の自己評価の結果を教職員と共有します。課題として浮き彫りになった事項のうち、家庭や地域の協力を得て改善できるものはないか、その可能性について、各委員にそれぞれの立場から意見を述べてもらうことは、地域ぐるみの学校改善につながります。

◆ 委員会の協議の間では、日頃教職員が用いる学校教育の専門用語はできるだけ使わず、分かりやすい表現を心がけることが肝要です。

このことは委員会に限らず、保護者会などでも配慮したい事柄です。

材木の質

マリオット・インターナショナル創業者／J・ウィラード・マリオット
穏やかな環境では、質の良い材木は育たない。風が強ければ強いほど、材木は強くなる。

出典：「賢人たちに学ぶ 自分を超越する言葉」本田季伸著（かんき出版）

※ よりよい社会人の基礎を形成するための環境づくりは、小中一貫して行いたいものです。